

学校教育目標

心豊かに たくましく
生きる力 を育成する

西ノ京

京都市立西ノ京中学校

学校だより ⑫

平成 30(2018)年 2月 28日

校長 内田 隆寿

3年生 卒業までの カウントダウン！

～ 仲間と支え合って最後まで ～

3年生は、すでに2月10日からの私学入試と2月16日からの公立前期選抜という大きなヤマ場を乗り越え、今は最大のヤマ場となる3月7日の公立中期選抜に向けて最後の力を振り絞って全力で取り組んでいます。進路実現を目標に、学校運営協議会のご協力のもと、学生ボランティアや3年の先生方に支えてもらいながら12月より取り組んできた3年生の土曜学習会も、残すところ3月3日の1回のみとなりました。毎回3年生の約2割を超える生徒が自主的に参加し、ここまで頑張ってきました。最後は体調も整えながら、悔いの残らないようにじっくり家庭で取り組んでくれることを期待しています。



すでに進路が決定した生徒もいますが、その人たちも自分自身の進学準備として、また、これから公立中期選抜に臨む仲間たちのために、最後まで気を抜かず学校生活を送ってほしいと願っています。

また、3年生を応援しようと、1・2年生一人ひとりがメッセージを書いて、3年生の教室があるフロアに掲示をしてくれています。そんな後輩応援団も含めて「受験は団体戦！」。オール西ノ京で頑張りぬきましょう！

なお、3年生は、3月8日より卒業前行事に入り、卒業証書授与式は、3月15日(木)午前10時開式となっています。9時55分には3年生が入場いたしますので、参列される皆様は9時50分までにはご入場いただきますようお願いいたします。



6年生の皆さん 西ノ京中学校へようこそ！

～ ふれあい探検 in 西ノ京 ～



2月8日(木)の午後、4中9小の小中一貫教育「よんきゅう絆プロジェクト」の取組として、校区4小学校の6年生を迎えて、「ふれあい探検 in 西ノ京」が開催されました。

まずは全員が体育館に集合して、生徒会本部役員による渾身のオープニングで幕を開けました。6年生の緊張を少しでもほぐそうと一所懸命な姿が印象的でした。その後、「吹奏楽部による歓迎の演奏」「本部役員の自己紹介」「部活動紹介のメッセージビデオ」とプログラムは進み、最後の「猛獣狩りゲーム」をする頃にはあちらこちらで歓声が沸きあがり、すっかり場の雰囲気や和んでいました。



その後は中学校の教科担任制による「授業体験」です。希望により9教科+育成学級にわかれた6年生に、中学校の授業の1コマを味わってもらいましたが、ここでも在校生が大活躍！初対面の他の小学校の友達と一緒にになり、再び緊張状態になる6年生を、それぞれの教室で見事にサポートしてくれました。



最後は「部活動見学」です。お目当ての部活を順にめぐって中学生の活動の様子を熱心に眺めていました。

最後は「部活動見学」です。お目当ての部活を順にめぐって中学生の活動の様子を熱心に眺めていました。

●PTA 家庭教育講座 『中学生の元気を育てる食事』

2月20日(火)、立命館大学スポーツ健康科学部教授で公認スポーツ栄養士の海老久美子先生を招いて中P連中京支部指導者研修会を兼ねて、西ノ京中学校PTA家庭教育講座を開催しました。講師の海老先生は、その世界では大変有名な方で、国立スポーツ科学センターでオリンピック強化指定選手の栄養面・体力面をサポートされたり、また、2017年夏の甲子園に出場し、18年の選抜の滋賀県代表でもある彦根東高校野球部の食育のサポートも長年にわたって実施されています。著書には『野球食』『野球食Jr』『アスリートのための食トレ』『女子部活食』などがあり、調べてみますと、この西ノ京中学校図書館にもすでに3冊の配架がありました。



当日は、上記のテーマで、アスリートを「食」で支えてこられた経験から、「水分補給」「栄養の取り方」「食べ方の工夫」「中学生のケガと食事の関係」などについて、クイズや具体的事例も交えながらわかりやすくお話ししていただきました。「脂質」と「糖質」をろうそくの「ろう」と「芯」にたとえて、「芯(糖)」がないと「ろう(脂肪)」は燃焼できないという話や、脳の重量は体重の2%程度しかないのに、エネルギー消費量の約20%は脳が消費しているという話、成長期はエネルギー不足による疲労骨折が多いので、予防のためには、体重変化を確認しながらエネルギーを満たし、特に日本人が不足しがちなカルシウム・ビタミンDとタンパク質を摂り、休養をしっかり取ろうという話など、興味深い話の数々に参加者も触発されたようで、講演が終わってからも質問のために海老先生を囲む輪ができていました。



なお、公益財団法人滋賀県体育協会作成の「Bispo! (ビスポ)」というフリーペーパーに、中学生の朝ごはんについて海老先生が書かれた記事が掲載されています。ネットで閲覧できますので、ご興味のある方はご家庭で検索してご覧ください。《 <http://bispo.link/> 》

●文化・芸術は秋だけじゃない! ～ 感性豊かに ～

『府教育美術展覧会』『新春お茶会』『中学校美術部展』

『茶道教室』『オーケストラ入門教室』『小さな巨匠展』

1月20日(土)・21日(日)、みやこめっせにある日図デザイン博物館で「京都府教育美術展覧会」が開催されました。これは、府内の幼稚園から高校までの作品を一堂に集めて展示する、年に一度の大きな展覧会です。創意工夫にあふれた作品が多く集まる中、本校生徒の作品もそれぞれ個性が発揮され、輝いていました!

1月24日(水)、茶華道部主催の「新春お茶会」が行われました。事前に申し込んだ生徒や保護者・教職員が参加して、おいしいお茶とお菓子をいただきました。会場内がそこだけゆったりとした時間が流れるような特別な空間に感じられるのが不思議です。



1月27日(土)・28日(日)、堀川御池ギャラリーで「中学校美術部展」が開催されました。これは、市立中学校20数校の美術部の作品が集まる、年に一度の趣向を凝らした展覧会で、昨年からスタートしたこの作品展に、本校の美術部は今年が初参加! 2年生は「不思議の国のアリス」、1年生は「夢」をテーマにした切り絵の共同作品を出品しました。こんな発表の機会が活動の目標のひとつになるといいですね。

1月31日(水)・2月1日(木)、3年生が家庭科の時間に「茶道体験」に取り組みました。これは、京都市「古典の日」事業の一環で開いた教室で、裏千家直門:修竹会から準教授の先生を招き、茶道の歴史やマナーを学んだあと、お菓子と抹茶をいただきました。茶道のマナーはまさに気配り、「謙譲」の精神です。作法の一つひとつに意味があることがよくわかりました。

2月6日(火)、育成学級と1年生が「オーケストラ入門教室」のため京都コンサートホールへ出かけました。クラシックの名曲を、素晴らしい会場で、それも、京都市交響楽団の生演奏で聴ける素敵なコンサートです。普段はなかなか聴く機会が少ないクラシックに、新鮮な魅力を発見したことでしょう。教室終了後には、参加校を代表して本校生徒が指揮者の方に花束を渡し、感謝の気持ちを伝えました。

2月22日(木)～25日(日)、堀川御池ギャラリーで「小さな巨匠展」が開催されました。これは、市立小中の育成学級、小の難聴学級、教育大附属小中の特別支援学級の児童生徒の作品を一堂に集めた学習成果の発表です。本校生徒二人も、美術の時間にていねいに制作した「イチジク」「サツマイモ」の本物そっくり造形作品を出品していました。どこにも負けない力作でした。※ 右の作品は、秋の京都市幼児・児童・生徒作品展に出品し、姉妹都市交歓作品に選出された佐野薫さん(2-1)の絵画作品です。この作品が、「芸術の都」フィレンツェ(イタリア)に送られることが決まりました。おめでとう!

